

令和5年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立南蒲小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

(低)・身近な環境と直接関わる活動を工夫し、実感的な気付きや発見、成功の喜びについて、タブレットを活用するなど多様な方法を使って表現する活動を取り入れることで、主体的に学習に取り組めるようになった。

(2) 課題

- (低)・コロナウイルス感染拡大による校外活動の縮小により、友達や先生、地域の様々な人々への感謝の気持ちや、どのような振る舞いや態度が適切なのかという気付きが十分でない。
- ・植物や生き物の命の大切さが十分に理解できていない児童がいる。

2 授業改善のポイント（観点別）【◎は重点項目】

(1) 低学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| ・動植物の実物に触れさせることで、本物を実感させ、正しく理解し、楽しんで活動できるようにする。 | ・継続して植物や生き物の世話や観察に取り組ませることにより、その変化や愛情や面白さを感じさせることで、命の大切さに気付かせる。 | ◎町探検で地域の人と触れ合ったり、学習発表会に向けて、これまでの自分の歩みを振り返ったりする場を設定することで、支えてくれている人への感謝の気持ちやそれにふさわしい態度を考えさせる。 |